

キラにこ・東っ子通信

NO. 1 令和8年 7月15日

中之口東小学校
CS事務局

5年目を迎えたコミュニティースクール

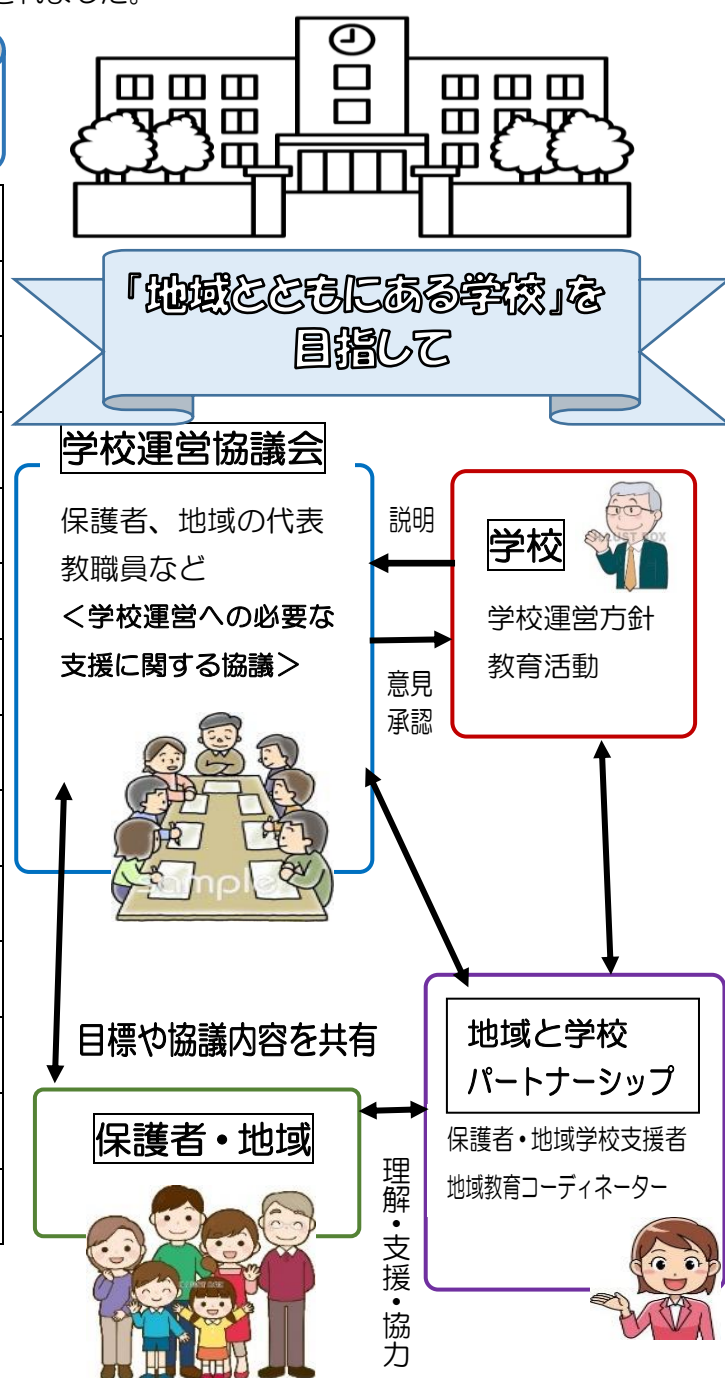
新潟市の『地域の未来を担う子どもたちの成長を保護者や地域住民、総がかりで支えよう』という取り組み「コミュニティースクール」が、中之口東小学校でも5年目を迎えました。6月1日には、7名の新委員を迎え、第一回学校運営協議会が開催されました。

令和8年度 学校運営協議会委員の紹介

氏 名	所属、役職など
会長 本田 香	中之口地区コミュニティ協議会
副会長 相田 文代	中之口民生児童委員
古澤 真言	中之口東小学校 前PTA会長
堀 大輔	中之口東小学校 PTA会長
長倉 尚	中之口先人館 館長
大橋 道男	高野宮上組 自治会長
本多 祐子	読み聞かせボランティア代表
川上 光子	元地域教育コーディネーター
小森 康貴	中之口東小学校 校長
小林 要一	中之口東小学校 教頭
宮本 陽子	中之口東小学校 教務主任
五十嵐 由紀子	中之口東小学校 地域教育コーディネーター
小林 久美子	中之口東小学校 地域教育コーディネーター

CS事務局

大矢 美奈子（今年度より）



令和8年度 第一回学校運営協議会

学校からは、学校教育ビジョン、学校経営方針、「ボランティアの固定化・高齢化」についての説明がありました。地域や保護者の代表の皆さんからは、それらについてのご質問やご意見をいただきました。その一部を紹介します。

教育ビジョン・評価シートより

【今年度の重点項目1】

○学力と学習意欲を高める。

【方策・手だて】

○協働的な学習に焦点を当てた授業づくり

【今年度の重点項目2】

○他者や社会と適切な関係をつくる力を付け

【方策・手だて】

- ①あいさつを広げる取組、よい姿を委員会や学級で紹介
- ②生活・活動の中で人間関係づくりを通して相手意識や対人スキルを育成

自分に自信をもち

地域を誇れる

キラキラにここにこ東っ子

学校経営方針より

(コミュニティースクールに関連して)

1 子どもファースト

※次回の学校運営協議会には、子どもたちも数名参加予定

2 学力向上

※金次郎塾の充実

3 支持的風土の醸成と組織的な対応

4 働き方改革の推進

※金次郎塾による個別指導

《質疑・応答》

Q. 協働的な学習が難しい場合もあるのでは？



A. 難しい場合は、担任と一緒にすすめます。やり方が（子どもたちに）浸透すると、友達同士で声を掛けたり教え合ったりしてすすめることができます。

Q. 金次郎塾とは？

A. 子どもたちの基礎学力の定着を図るために、地域の皆さんが行っている放課後学習支援です。働き方改革の一環にもなっています。2年生と3年生が対象ですが、10月頃から1年生も希望を募る予定です。



Q. 「他者や社会と適切な関係をつくる」は、どのように評価するのですか。

A. 「できた」「だいたいできた」「あまりできなかった」「できなかった」の4段階で子どもが自己評価します。子どもと教師の意識に隔たりがあることもあります。



Q. 生成AIの活用について、子どもたちにはどのような指導をしていますか。



A. 学習アプリや修学旅行の調べ学習などでインターネットを使っていますが、生成AIを使って調べるとはほとんどありません。フェイクなどの問題もあるので、危険性については、動画を使って学習したりしています。学校だけでなく家庭の協力も得てのモラル教育が必要と考えます。

《意見》～ 主に、学習ボランティアの「固定化・高齢化・参加希望家庭の不足」に関する意見を多くいただきました ～

今年度学習ボランティアを希望したのは、5家庭、その内親子奉仕作業は2家庭のみ（6/1現在）

・（運動会など）保護者が多く集まる機会に実施する（呼びかける）のもよいのではないのでしょうか。

・地域のボランティアの方は高齢の方が多く危険が伴うこともあるので、多くの保護者の皆さんの力があるといいですね。



・ボランティアの形で募集すると、どうしたらいいのかわからなかったり迷ったりする保護者の方も多いのではないのでしょうか。募集の方法を変えてみてはどうでしょう。

・地域の皆さんが、「みんなの学校」という意識をもち、PTA、自治会、コミ協が連携し合って学校の活動に協力していきましょう。



今回の学校運営協議会では、金次郎塾の継続（今年度）が承認されました。また子どもたちの安全な活動や学習の場を保证するために、募集方法を改善して多くの保護者の皆さんからボランティアに参加していただくことを確認しました。